

市債(借入金)の残高

◆令和3年度末現在の残高

会計	令和3年度末現在高
一般会計	405億5,301万8千円
特別会計	1億8,709万8千円
合計	407億4,011万6千円

◆市債残高の推移

年度	一般会計	特別会計	公営企業会計
平成29年度末	393億円	2億円	172億円
平成30年度末	370億円	2億円	166億円
令和元年度末	393億円	1億円	161億円
令和2年度末	378億円	4億円	156億円
令和3年度末	406億円	2億円	151億円

市の財政 健全化判断比率と資金不足比率

◆**健全化判断比率** 地方公共団体等の財政の状況を、数値でわかりやすく把握するために算出する指標です。数値が「早期健全化基準」を越えると、財政健全化への努力がより厳しく求められることになります。

→大和郡山市の令和3年度決算にもとづく各指標は、すべての数値が「早期健全化基準」をクリアしています。

※「△」=マイナスを表します		大和郡山市 令和3年度	(参考) 早期 健全化基準
実質赤字比率	一般会計等の赤字の比率	黒字のため 数値なし	12.46%
連結実質赤字比率	一般会計と特別会計・企業会計 全ての会計の赤字の比率	(昨年と変わらず)	17.46%
実質公債費比率	市債(借金)の単年度返済額の 負担の重さを表す指標	9.6% (前年度比△1.6%)	25.0%
将来負担比率	市債の残高や公社・第3セクター の債務など、負担しなければなら ない負債の大きさを表す指標	11.0% (前年度比△3.5%)	350.0%

◆**資金不足比率** 健全化判断比率と同様、公営企業の赤字の状況を表す指標。本市では、「水道事業会計」と「下水道事業会計」の2事業が対象。

→2事業とも、令和3年度決算額では資金不足額がないため、「経営健全化基準」をクリアしています。



令和3年度 こんなところにお金を使いました

協働のまち

庁舎建設事業 ————— 41億9,718万5千円
市税等スマートフォン決済導入事業 ————— 998万8千円

産業・環境

郡山城跡公園整備事業 ————— 12億5,282万8千円
元気城下町発・未来行チケッ事業 — 2億4,232万8千円
事業継続支援事業 ————— 3,088万2千円
飲食店時短協力支援金事業 ————— 2億498万7千円
郡山城跡国史跡指定推進事業 ————— 1,108万1千円

安全・快適な暮らし

市道伊豆七条高野線道路新設事業 ————— 4億877万7千円
都市計画道路城廻り線街路事業 ————— 1億1,763万5千円
市道満願寺線道路改良事業 ————— 5,029万5千円
都市公園長寿命化対策事業 ————— 1億1,080万7千円
消防団庫耐震化事業 ————— 4,040万7千円

子育て・教育

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業
(その他世帯分) ————— 4,658万円
低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業
(ひとり親世帯分) ————— 6,179万9千円
子育て世帯に対する給付金給付事業 — 11億4,540万1千円
カトリック幼稚園施設整備事業 ————— 1億3,010万2千円
いずみ保育園施設整備事業 ————— 985万6千円
学校園の子どもサポート事業 ————— 1,399万円
新型コロナウイルス感染症対応修学旅行支援事業
————— 618万4千円
小学校トイレ全面改修事業 ————— 7億3,445万2千円
学校図書館司書配置事業 ————— 530万3千円

健康・福祉・生きがづくり

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業
————— 9億1,142万1千円
新型コロナウイルスワクチン接種事業 — 6億4,401万8千円



他にも大和郡山市独自にこのような事業を実施しました

- 幼児二人同乗用自転車購入補助事業 ——— 95万8千円
- 福祉タクシー助成事業 ————— 688万1千円
- 障害者(児)介護手当給付事業 ————— 2,244万9千円
- 高齢者生活支援対策事業 ————— 159万2千円
- 一般不妊治療費助成事業 ————— 337万8千円

